

テストチューブ-老化試験機

Test Tube Ageing Tester

用 途

熱老化試験機のうち、特に添加剤を多く含んだ高分子材料で添加剤の移行性が問題となるゴム、プラスチックの熱老化試験に適した装置です。加熱空気による有機材料の老化試験には、一般的にギヤー・オープン(No.272)が広く使用されています。しかし、異種材料を同時に試験する場合、添加剤の移行現象があり、これを防止するために同種のサンプルのみを、それぞれ独立したセル(ガラス管)内に入れ、換気孔の付いた栓をして、高温に保持されたバス(油槽やメタルバス)の中で試験をする「テストチューブ法」が、JIS、ASTMなどに規定されています。



※試験管一式は、オプションです。

特 長

この装置は、温度分布、安全性などを考慮したアルミニウムブロック製で□24本のチューブが同時に試験出来ます。

装置の構造

本体は、円形の構造を有し保温材で囲まれた純アルミブロック内に24個の試験管孔を有しています。

温度はアルミブロックに取り付けられたヒーターで温め、温度調節器によりPID制御され、試験管孔内の温度分布は±1%以内の精度を保っています。

また、本機は安全対策として過昇温防止装置を有し、もし温度調節器の不調等により温度が設定温度より超えた場合、ただちに電源回路を断つと同時に警報ランプが点灯し、ブザーが鳴るようになっています。

試験管はφ38mm×長さ300mmのパイレックスガラス製で、試験片はコルクの中心より出ている試料吊具に掛けます。

試料間にはステンレス製の金属ワッシャーを使用し、コルクの左右にある自然対流用パイプで試験管内の空気を対流させます。通常の試験片はJIS規格のダンベル等を使用します。

仕様

試験本数	: 24本掛
最高温度	: 300°C
温度調節	: PID制御温度調節器
安全対策	: 過温防止装置付
電源	: 単相 AC200V 50/60Hz 25A
機体寸法	: W500 x D720 x H450mm
質量	: 約 120kg
参考規格	: JIS K 6257、ASTM D 865

* オプション : テストチューブ用試験管一式【型式:TA-GT】

コルク栓、フック、試験管 24式、ワッシャー 50個 のセットです。

2019.10

材料試験機の総合メーカー

 株式会社 **東洋精機** 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4 TEL 03-3916-8181 FAX 03-3916-8173
大阪支店 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5-3(豊田ビル) TEL 06-6386-2851 FAX 06-6330-7438
名古屋支店 〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31(千種ビル) TEL 052-933-0491 FAX 052-933-0591

www.toyoseiki.co.jp

●記載内容は改良のため変更することがあります。

